

皮膚科

I 経験、習得すべき事項

(1) 頻度の高い症状

発疹・粘膜疹	毛・爪の異常	自覚症状（痒み、痛み）の有無
発熱の有無	リンパ節腫脹の有無	

(2) 緊急を要する症状・病態

重症薬疹（皮膚粘膜眼症候群型、中毒性表皮壊死症型）	重症熱傷	紅皮症
重症蕁麻疹（アナフィラキシーショック、呼吸困難）	重症感染症（細菌、ウイルス）	水疱性疾患

(3) 経験が求められる疾患・病態

- ① 湿疹・皮膚炎群の定義、種類、症状、診断、治療
- ② アトピー性皮膚炎の病因論、治療法、経過
- ③ 蕁麻疹の定義、症状、診断、治療、原因
- ④ 薬疹の定義、種類、症状、治療、原因薬の検索法
- ⑤ 紅斑類（多形滲出性紅斑、結節性紅斑）の症状、診断、治療、原因
- ⑥ 乾癬の症状、診断、経過、治療
- ⑦ 掌蹠膿疱症の症状、診断、治療
- ⑧ 水疱性疾患（天疱瘡、類天疱瘡）の分類、症状、病理所見、免疫所見、治療
- ⑨ 膠原病（エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎）の診断、検査、治療
- ⑩ ペーチェット病の症状、診断、検査、治療
- ⑪ 皮膚良性腫瘍、悪性腫瘍の臨床、病理組織所見、治療
- ⑫ ウイルス感染症（単純疱疹、带状疱疹、伝染性軟属腫、ウイルス性イボ）の症状、診断、治療
- ⑬ 細菌感染性（伝染性膿痂疹、せつ、蜂巣炎、丹毒、壊死性筋膜炎）の症状、診断、治療
- ⑭ 真菌感染症（白癬、カンジダ症、癬風）の症状、診断、治療
- ⑮ 梅毒の臨床、検査、診断、治療
- ⑯ 褥瘡・皮膚潰瘍の治療

II 当診療科における研修の特徴

- 1) 発疹について皮膚科学上必要な用語を理解し、その性状・配列・分布を記載させる。
- 2) 皮膚生検、皮膚病理組織学の基本事項の習得。
- 3) 皮膚科学的検査法（パッチテストを含む）の習得。